

令和4年度
(令和4年4月入学)

九州産業大学大学院 学生募集要項

(一般・社会人・外国人留学生入学試験)

博士前期課程・博士後期課程

国際文化研究科

経済・ビジネス研究科

情報科学研究科

工学研究科

芸術研究科

(秋期 推薦入学試験)

博士前期課程

情報科学研究科

九州産業大学

建学の理想

九州産業大学大学院（以下「大学院」という。）は、九州産業大学（以下「本学」という。）の目的使命に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与することを目的とし、建学の理想「産学一如」の実現を目指して教育・研究体制を整備している。産学一如とは、すなわち、「産」（産業界）と「学」（大学）とを連動させ、「学」を「産」に活かす教育（理論と実践の統合）を志向することである。

大学院の人材養成及び教育研究上の目的

大学院は、本学の建学の理想のもと、広く産業界の期待に応えられる“実践力”“熱意”“豊かな人間性”を持った人材を輩出すべく、深い教養に裏打ちされたグローバル化に対応できる心身共に健全な人間教育の実践に努めている。

各研究科の人材養成その他教育研究上の目的

【国際文化研究科】

現代のグローバル化社会において文化・教育研究、臨床心理学の各分野で活躍できる人材の育成を目指している。国際文化研究分野では、日本・アジア文化、欧米文化、教育に関する深い知識を身につけた専門的職業人や研究者、教員の育成を図っている。臨床心理学研究分野では、現代社会のニーズに応じた幅広い領域での心理的ケアを行える実践家と研究者の養成に力を注いでいる。

[入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）]

〈博士前期課程〉

世界や日本の文化、および人間心理に関心を持ち、これらを専門的に学ぶ意欲のある人物を受け入れている。自ら研究課題を発見し設定する能力や、他者を説得できる論理的な表現能力を求めている。入学者の選抜では、専門分野の基礎知識、外国語能力、研究分野での考察力、基本的なコミュニケーション能力等について審査する。他大学からの入学希望者、社会人、留学生等にも積極的に門戸を開いている。

〈博士後期課程〉

世界や日本の文化および人間心理に旺盛な探究心を持ち、自立した研究者・高度職業人として強い意志を持って研究遂行できる人物を受け入れている。自ら発見した研究課題について、資料やデータを収集・分析し、論理的に考察・表現でき、優れた研究・実践者となることのできる資質を求めている。入学者の選抜では、修士論文等の内容から、論文作成能力、考察力、博士課程での研究・実践に必要とされる知識、技術等について審査を行う。他大学からの入学希望者、社会人、留学生等にも積極的に門戸を開いている。

【経済・ビジネス研究科】

経済・ビジネス研究科は、経済およびビジネス社会におけるグローバル化、リージョナル化、情報化およびサービス化の変容と進展に対応していくために、経済・コマース・マネジメントそれぞれの分野における喫緊の課題を解決する能力の育成等を目標とする。また、本研究科は昼夜開講制の特色を活かし、本学の建学の理想である、「産学一如」の実現を目指しながら、福岡・九州の地域社会および産業界のニーズに対応できる実践的教育を通じた人材育成を教育理念および目標とする。

博士前期課程は、経済・コマース・マネジメントそれぞれの分野において活躍できる専門的職業人を養成する。博士後期課程は、これらの分野に関する高度な専門知識を備える専門的職業人及び研究者を養成する。

[入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）]

〈博士前期課程〉

本研究科では、国内外の大学および本学出身の学生を受け入れるだけでなく、リカレント教育の大学院研究科として、生涯学習やキャリアアップを目指す社会人や、資格取得を目指す学生など、広く多様な学生を受け入れていく。

教育理念および目標に基づき、次のような人を受け入れている。

- (1) 経済・コマーシヤル・マネジメントへの関心とその基礎的知識をもっている人
- (2) 経済・コマーシヤル・マネジメントに関する研究を通じて高度な専門知識とその実践的応用能力を身につけようとする意欲のある人
- (3) 修了後、関連分野において指導的役割を果たすことを希望する人

〈博士後期課程〉

博士後期課程では一専攻で、「研究者養成コース」と「社会人特別コース」を設けている。研究者養成コースは博士前期課程から5年間の一貫教育の指導を受ける学生の受け入れ、社会人特別コースは、企業等の在籍者、研究機関等の研究員および大学等の教員として教務経験と研究実績がある社会人の受け入れを行う。

教育理念および目標に基づき、次のような人を受け入れている。

- (1) 経済・コマーシヤル・マネジメントへの関心とその深い専門的な知識をもっている人
- (2) 経済・コマーシヤル・マネジメントに関する研究を通じて、より最先端の知識とその実践的応用能力を身につけようとする意欲のある人
- (3) 修了後、関連分野において研究者、あるいは専門的職業人として主導的役割を果たすことを希望する人

【情報科学研究科】

「社会と人間のためのIT（情報技術）」を教育研究の理念とし、高度情報社会の諸問題に対応出来る高度専門職業人および研究開発者の育成を目標としている。特に、我が国が目指す超スマート社会を支える情報システムを構築できる技術と展望を持った人材や人間の本質である知的処理能力をコンピュータで実現あるいは支援する技術を開発できる人材を育成する。この目標達成に向け、前期課程は、情報科学・情報技術を基礎から応用まで深く修得し得る教育を行い、後期課程は、高度情報社会の発展を担い得る高度の研究開発能力や問題解決能力を養う教育課程を編成している。

[入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）]

〈博士前期課程〉

情報科学・情報技術に関する基礎知識及び英語や日本語によるコミュニケーション力を有し、高度情報社会を支える強い意欲のある者を受け入れる。このため、情報分野の学部教育を受けてきた従来型の進学者のみならず、情報分野以外の学部教育を受けてきた進学者や企業技術者、中等初等教育担当者、高等教育機関の教職員も対象とする。

〈博士後期課程〉

情報科学・情報技術の基礎から応用までの広範な知識と能力を有し、研究対象に対する旺盛な探求心と研究遂行に強い意志を持つ者を受け入れる。このため、博士前期課程からの進学者のみならず企業等の研究開発機関で現在活躍している中堅研究開発者も対象とする。

【工学研究科】

建学の理想である「産学一如」の実現を目指し地域、社会および産業界の要請に対応するため、また、持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に向けた取組を実施するため、物事を総合的な観点からとらえ、人・社会・地域に受容されかつその発展に貢献できる産業技術を創出し、展開できる人材の養成を目指している。

[入学者の受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)]

〈博士前期課程〉

ものづくりの基本となる理数系科目の学力を有し、身につけた学識を SDGs 達成に向けたグローバルかつユニバーサルな取組および社会や産業界において発揮することについて強い意欲を持ち、目的意識を持って時代を切り開く意志を持つ者を受け入れる。このため、本学の卒業生のみならず、他大学からの進学者、社会人、留学生も積極的に受け入れる。

〈博士後期課程〉

先駆的かつ高度で専門的な工学の研究を目指すにふさわしい基礎的な研究能力を持ち、研究対象に対する旺盛な探究心と研究遂行に強い意志を有する者、SDGs 達成に向けたグローバルかつユニバーサルな取組および社会や産業界における実践的な活動の経験に立ち、真理を探究する強い意志を有する者を受け入れる。

【芸術研究科】

芸術研究科は、21 世紀の知識基盤社会を多様に高度で知的な素養のある人材など、多様化する社会に応えられる有為な人材を育成することを目標にしている。前期課程は、学部における芸術諸分野の専門的な教育との繋がりに配慮しつつ、専門性と学際性の両立のできる美術研究者、アーティスト、デザイナー、クリエイター、写真家、映像作家の人材育成を目標に高いレベルの教育を行う。後期課程は、現代の芸術文化を担う高次元の研究者とアーティスト、ジェネラリスト、プロデューサー、教育研究者の養成を目標にしている。

[入学者の受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)]

〈博士前期課程〉

芸術研究科は、21 世紀の多様化する社会の要求に芸術の分野で応えることのできる人材を養成することを目標に、展覧会やコンペティションの受賞歴などから、アーティストやクリエイターとしての潜在能力に優れ、将来性が高いと判断される者、学業成績に優れ学部においてプロジェクト活動などに積極的に参加した経歴などから、デザイナーやプロデューサー、研究者や教育者として高い資質を持つ者で、本学および他大学の芸術系の卒業生、民間企業・研究機関の在籍者、外国人留学生、一般社会人など多様な人材を受け入れる。

〈博士後期課程〉

芸術諸領域における専門的、横断的な知識・技術を有し、高次のアーティストや研究者として、芸術文化を担う強い意志を持った人物を受け入れている。実技系では個性的、革新的な作品を創造する資質を、理論系では社会の様々な問題を論理的に解決する資質を求めている。入学者の選抜では、修士課程や実社会での活動内容から、実技系、理論系に必要とされる資質や能力、知識や技術等について審査を行う。本学芸術研究科の他、他大学大学院修了者、民間企業・研究機関の在籍者、外国人留学生、一般社会人など多様な人材を受け入れている。

目 次

博士前期課程

1. 募集研究科及び入学定員・入試日程	1
2. 出願資格	1
3. 出願手続	2～3
4. 選抜方法	4～8
5. 合格発表	8
6. 入学手続	8
7. 各研究科の概要（授業科目及び教員組織、履修方法等）	
全 研 究 科	11
国際文化研究科	12～15
経済・ビジネス研究科	16～21
情報科学研究科	22～23
工 学 研 究 科	24～31
芸 術 研 究 科	32～37
8. 飛び級入学試験（理工学部情報科学科在学生対象）	38～39

博士後期課程

1. 募集研究科及び入学定員・入試日程	41
2. 出願資格	41
3. 出願手続	42～43
4. 選抜方法	43～45
5. 合格発表	46
6. 入学手続	46
7. 各研究科の概要（授業科目及び教員組織、履修方法等）	
国際文化研究科	49～50
経済・ビジネス研究科	51～53
情報科学研究科	54～55
工 学 研 究 科	56～58
芸 術 研 究 科	59～60

出願資格の認定	61
---------	----

大学院設置基準第14条に定められる教育方法の特例による教育について	62
-----------------------------------	----

入学金・修学費及び委託徴収金（令和4年度入学者適用）	63～64
----------------------------	-------

個人情報の取り扱いについて	65
---------------	----

出願時の提出書類一覧表（九州産業大学大学院博士前期課程）	66
------------------------------	----

出願書類等（様式1～様式10）	
-----------------	--

博士後期課程

1. 募集研究科及び入学定員・入試日程

研究科	専攻	入学定員	秋期入学試験			春期入学試験		
			願書受付期間	試験日	合格発表	願書受付期間	試験日	合格発表
国際文化研究科	国際文化専攻	5名	令和3年 9月7日(火) 、 9月14日(火)	9月24日(金)	10月15日(金)	令和4年 1月13日(木) 、 1月25日(火)	2月15日(火)	3月1日(火)
経済・ビジネス研究科	経済・ビジネス専攻	5名						
情報科学研究科	情報科学専攻	4名						
工学研究科	産業技術デザイン専攻	4名						
芸術研究科	造形表現専攻	6名						

2. 出願資格

- (1) 修士の学位（専門職学位を含む）を有する者又は令和4年3月までに取得見込みの者。
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。
- (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び令和4年3月までに24歳に達する者。

(注) 上記の(6)より出願を希望する者については、入学資格審査を行う。61ページの「出願資格の認定」を参照すること。

一般入試

上記の(1)～(6)のいずれかに該当する者

社会人入試

[国際文化研究科・情報科学研究科・芸術研究科]

4年制大学卒業後または在学中に実務経験2年以上を有し、上記の(1)～(6)のいずれかに該当する者

[経済・ビジネス研究科]

4年制大学卒業後または在学中に実務経験3年以上を有し、上記の(1)～(6)のいずれかに該当する者

[工学研究科]

各種研究機関、教育機関、企業等に勤務している研究者・技術者で、上記の(1)～(6)のいずれかに該当する者

外国人留学生入試

上記の(1)～(6)のいずれかに該当する者で、入学後、法に定める「留学」の在留資格を取得又はこれに変更できる者

(注) 日本国内の大学院を修了（修了見込みを含む）した外国人留学生の選抜方法については、一般の入学試験と同様に実施する。なお、出願書類については、外国人留学生入試の出願に必要な書類を提出すること。

3. 出願手続

(1) 出願書類

提出書類	該当研究科等 (入試区分)	注意事項
① 入学志願書・受験票 履歴書(裏) [本大学院所定用紙 様式1]	全研究科	<p>所定用紙に必要な事項を記入し、写真を貼付したもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・※印欄は、記入しないこと。 ・○の箇所は、いずれかを囲んでおくこと。 ・本学卒業または修了(見込)者は、学籍番号を記入すること。 ・受験科目欄は、筆記試験の選択科目について、選択し記入すること。出願後の科目変更は認めない。 ・研究指導教員及び志望演習(研究)科目は「各研究科の概要」の授業科目及び教員組織を参照し、担当者氏名の前に○印が付されている教員名と、その教員が担当する演習(研究)科目を記入すること。 ・研究指導を志望(第一志望)する担当教員との研究計画等についての事前確認を必ず行い、○を付けること。 ・経済・ビジネス研究科に出願する場合は、「各研究科の概要」の履修方法を参照し、希望するコースを志願研究科欄に記入すること。 ・外国人志願者が履歴を記載する際は、<u>小学校入学から現在</u>に至るまで空白期間がないように記入すること。 ・一般及び社会人志願者が履歴を記載する際は、<u>高等学校卒業相当から現在</u>に至るまで、空白期間がないように記入すること。なお、社会人志願者は<u>職歴</u>も詳しく記入すること。 ・学歴を記載する際は、学部、学科名まで記入すること。
② 修士課程又は博士前期課程の修了(見込)証明書	全研究科	<p>出身大学長等が発行したもの。(出願前3ヵ月以内のもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業証明書等及び成績証明書の発行を行わない外国の大学を卒業した者は、原本を出願時に提示すること。 ・日本語・英語以外で記載された証明書等は、日本語の訳文を添えて提出すること。 ・現在の氏名と証明書記載の氏名が異なる場合は、新旧氏名記載の改氏名を証明する書類(戸籍抄本等)を提出すること。
③ 成績証明書		
④ 修士の学位論文等	全研究科	修士の学位論文を提出した者は、学位論文の写しを提出すること。
⑤ 研究計画書 [本大学院所定用紙 様式3]	全研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・※印欄は、記入しないこと。 ・研究計画の概要(研究目的・研究方法等について)を1,000字以内(英語の場合は300words以内)で、記入すること。 ・書類を記入する際は、本学ホームページから様式をダウンロードすること。
⑥ 修士学位論文要旨・研究経過報告書 (修士の作品制作意図・作品制作経過報告書) [本大学院所定用紙 様式5]	全研究科	<p>本人の研究成果であることを証明する出身大学の指導教員又はそれに準ずる者が署名・捺印したものを提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを使用し、2,000字以内(英語の場合は500words以内)で、記入すること。 ・修士の学位論文を提出した者は、学位論文の要旨を記入し、提出すること。 ・修了見込者で修士の学位論文作成中の者は、研究経過を記入し、提出すること。
	芸術研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作意図又は作品制作経過を記入し、提出すること。 ・作品の写真(キャビネ判をA4ファイル等にまとめたもの)を添付すること。
⑦ 研究業績調書 [本大学院所定用紙 様式6]	全研究科	<p>修士の学位論文又は作品以外に研究発表等があれば記入し、提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別刷・写し等、資料を添付すること。 ・提出資料が作品の場合は、写真(キャビネ判をA4ファイル等にまとめたもの)で提出すること。 ・書類の記入は、パソコンを使用すること。 ・概要は100字以内で記載すること。又、共著及び共同発表の場合は、本人を含め、全員の氏名を概要の末尾に記載すること。 ・記入用紙が不足する場合は、適当な用紙を添付すること。
⑧ 研究・業務報告書 [本大学院所定用紙 様式7]	全研究科	<p>現在までに携わった研究・業務があれば、その内容を詳しく記入の上、提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入用紙が不足する場合は、適当な用紙を添付すること。
⑨ 推薦書 ※任意提出	全研究科 (社会人のみ)	<p>官公庁及び企業等の所属長が作成したもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式随意
⑩ 住民票又は公的機関が発行した国籍を証明する書類	全研究科 (外国人のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国内からの出願者は、区役所(市町村役場)から在留資格及び在留期間が記載されている住民票(出願前3ヵ月以内のもの)を提出すること。 ・日本国外からの出願者は、公的機関が発行した国籍を証明する書類を提出すること。ただし、パスポートを所持している者は、氏名の記載及び写真の貼ってあるページの写し(コピー)でもよい。

提出書類	該当研究科等 (入試区分)	注意事項
⑪ 健康診断書 [本大学院所定用紙 様式8]	全研究科	出願前3ヵ月以内に受診し作成されたもの。診断書作成の医師については指定しない。 ・出願時の年度内に、学校・職場等で健康診断を受診した者については、その証明書（健康診断結果が明記され、学校長または所属長の証明印があるもの）で代えることができる。
⑫ 通知用ラベル [本大学院所定用紙]	全研究科	確実に届く住所を記載すること。 ・受験票・合格通知書等を送付する際に使用する。提出後に住所変更がある場合は、届け出ること。

(2) 入学検定料

- ① 一般入試、社会人入試： 本学卒業（見込）者（外国人留学生を含む）の出願者は、**16,000円**とする。
- ② 一般入試、社会人入試： 他大学卒業（見込）者及び日本国内の他大学を卒業した（卒業見込みを含む）外国人留学生の出願者は、**32,000円**とする。
- ③ 外国人留学生入試： 外国人留学生の出願者は、**30,000円**とする。

本大学院所定の郵便振替払込用紙により、最寄りの郵便局で払い込みを行い、「郵便振替払込受付証明書」を入学志願書の裏面に貼付すること。

(3) 出願上の注意

- ① 志願者は、出願前に、研究計画等について、研究指導を志望する担当教員と必ず話し合うこと。
- ② 出願書類は、本大学院所定の出願用封筒に出願書類を取り揃えて出願すること。
- ③ 出願書類は、特に指定がない限り、本人が日本語でペン又はボールペンをうい正確に記入すること。
- ④ 出願書類は、本学に持参することが望ましいが、都合により郵送する場合は、簡易書留郵便とし、締切日までに必着のこと。
- ⑤ 出願書類は、ひとつでも不足又は不備がある場合は受け付けない。
- ⑥ 出願書類提出後は、志望研究科・専攻・コース・研究指導教員等の変更は一切認めない。
- ⑦ 証明書等の写し（コピー）は、受け付けない。
- ⑧ 日本語・英語以外で記載された証明書等は、日本語の訳文を添えて提出すること。
- ⑨ 一度払い込まれた入学検定料及び提出した書類の返還請求には応じない。
- ⑩ 不明な点がある場合は、出願前に、本学教務部大学院事務室に問い合わせること。

(4) 願書受付時間・場所

- ① 受付時間
9時から16時まで（平日の11時20分から12時20分及び土日、祝祭日は除く）
- ② 受付場所及び問い合わせ先
九州産業大学教務部大学院事務室（九州産業大学内1号館1階）
電話（092）673-5596

(5) 受験上の注意

試験開始後、20分以上遅刻した者は受験することができない。

(6) 受験票の送付

受験票は、願書受付期間後、本人宛に送付する。

4. 選 抜 方 法

(1) 試験場

九州産業大学（福岡市東区松香台二丁目3番1号）

※なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、選抜方法を変更する場合があります。

変更の詳細については、本学のホームページでお知らせします。

(2) 試験科目・試験時間

一般入試

○入学者の選抜は、筆記試験（情報科学研究科及び芸術研究科は除く）、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

● 国際文化研究科

試験科目	筆記試験	口述試験
専攻分野	9:00～10:30	11:00～
国際文化研究	英語、中国語、漢文のうちから1科目選択	研究計画書及び修士論文等に基づいて試問
臨床心理学研究	英語	

(注) 外国語・漢文については、辞書（一冊）の使用を認める。（電子的辞書は不可）

● 経済・ビジネス研究科

時間	10:00～12:00	13:00～
専攻		
経済・ビジネス専攻	英語 (辞書一冊持ち込み可) ※いずれの辞書でも可。 ただし、電子的辞書を除く。	口述試験 研究計画書を中心として行う。

● 情報科学研究科

時間	10:00～
専攻	
情報科学専攻	口述試験 現在までに携ってきた研究・業務及び研究計画について20分程度発表し、質疑応答を行う。受験者は発表の準備をしておくこと。発表に用いる言語は、日本語又は英語とする。発表にはPCプロジェクターを用いることができる。その後、面接を行う。

● 工学研究科

時間	10:00～12:00	13:00～14:30	本大学院出身者 13:00～ 他大学院出身者 14:40～
専攻			
産業技術デザイン専攻	英語 (辞書一冊持ち込み可) ※いずれの辞書でも可。 ただし、電子的辞書を除く。	専門科目 【他大学院出身者のみ】 ●専門科目について筆記試験を行う。	口述試験 ●修士論文、研究計画書等の内容について口頭試問を実施する。 ●口頭試問後、他の事項について面接する。

● 芸術研究科

時間	10:00～
専攻	
造形表現専攻	口述試験 研究計画書及び修士論文又は作品等を中心として行う。

社会人入試

○国際文化研究科、経済・ビジネス研究科の入学者の選抜は、筆記試験、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

● 国際文化研究科

試験科目	筆記試験	口述試験
専攻分野	9:00～10:30	11:00～
国際文化研究	英語	研究計画書及び修士論文等に基づいて試問
臨床心理学研究		

(注) 外国語については、辞書（一冊）の使用を認める。（電子的辞書は不可）

● 経済・ビジネス研究科

専攻	時間	10:00～12:00	13:00～
経済・ビジネス専攻	小論文	口述試験 研究計画書を中心として行う。	

【他大学院博士前期課程から本大学院経済・ビジネス研究科博士後期課程への社会人入試について】

「小論文」と「口述試験」に加え、「英語の試験」と「修士論文の発表」を課す。

なお、博士後期課程を修了せずに大学の教員として勤務している社会人の場合は、従来どおりに英語の試験も論文発表も免除し、小論文と、修士論文または最近の公刊論文を中心とする口述試験とで評価する。

○情報科学研究科・工学研究科・芸術研究科の入学者の選抜は、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

● 情報科学研究科・芸術研究科

一般入試と同様に行う。

● 工学研究科

専攻	時間	10:00～
産業技術デザイン専攻	口述試験 修士の学位論文、研究・業務内容及び研究計画書等についての 口頭試問を含む。	

外国人留学生入試

○入学者の選抜は、筆記試験（情報科学研究科及び芸術研究科は除く）、口述試験の結果及び出願書類等の審査結果を総合して行う。

● 国際文化研究科・情報科学研究科・芸術研究科

一般入試と同様に行う。

● 経済・ビジネス研究科

専攻	時間	10:00～12:00	13:00～
経済・ビジネス専攻	小論文	口述試験 研究計画書を中心として行う。	

● 工学研究科

専攻	時間	10:00～12:00	13:00～14:30	14:40～
産業技術デザイン専攻		英語 (辞書一冊持ち込み可) ※いずれの辞書でも可。 ただし電子的辞書を除く。	専門科目 ●専門科目について筆記 試験を行う。	口述試験 ●修士論文、研究計画書等 の内容について口頭試問 を実施する。 ●口頭試問後、他の事項に ついて面接する。

(注) 日本国内の大学を卒業(卒業見込みを含む)した外国人留学生は、一般入試を受験すること。なお、出願書類については、外国人留学生入試の出願に必要な書類を提出すること。

5. 合格発表

- (1) 合格発表当日、午前10時に本学ホームページで公示するとともに、受験者に対しては同日に通知文書を発送する。
- (2) 合格に関する問い合わせには、一切応じない。

6. 入学手続

合格者は、指定された期日までに諸手続を終えなければならない。期日内に手続を完了しないときは、入学を辞退したものと取り扱う。

● 秋期合格者の手続について

(1) 入学金及び修学費等納付金

入学金及び修学費等納付金については、令和4年1月12日(水)15時までに、銀行窓口で納付すること。

(2) 入学手続書類

入学手続書類については、令和4年1月12日(水)16時までに、本学教務部大学院事務室に提出すること。

● 春期合格者の手続について

(1) 入学金及び修学費等納付金

入学金及び修学費等納付金については、令和4年3月15日(火)15時までに、銀行窓口で納付すること。

(2) 入学手続書類

入学手続書類については、令和4年3月15日(火)16時までに、本学教務部大学院事務室に提出すること。

中国の大学卒業者の入学手続について

中国の大学卒業者は、以下のとおり中国教育部学位与研究生教育发展中心(以下“CDGDC”と略)において、大学卒業に関する認証報告書手続を行ってください。

1. CDGDCのホームページ「<http://www.cdgdc.edu.cn/>」に登録。
2. 学位認証に関する内容を確認。
3. インターネット用申込書に各項目を入力し、確認の上、オンラインで送信して申請。
4. CDGDCのホームページで認証申請手続き後、電子メールで届いた「認証報告書」を出力。
5. 出力した「認証報告書」を入学手続き書類と共に大学院事務室へ提出。

7. 各研究科の概要（授業科目及び教員組織、履修方法等）

※授業科目の講義内容については、本学ホームページよりご参照ください。

国際文化研究科	49～50
経済・ビジネス研究科	51～53
情報科学研究科	54～55
工学研究科	56～58
芸術研究科	59～60

(注) 教員組織は、令和3年8月現在に基づくものであり、研究指導教員が担当する演習（研究）科目は、募集を取り止める場合があります。

講義概要（シラバス）はWeb上で閲覧できます

下記のアドレスよりログインしてください。

<http://www.kyusan-u.ac.jp/guide/publication/index.html>

国際文化研究科

○授業科目及び教員組織（令和3年8月現在）

国際文化専攻 博士後期課程

○研究指導教員

区分	授業科目	単位			職名	担当者		
		1年	2年	3年				
国際文化研究分野	国際文化特別研究Ⅰ	4			教授 教授 教授 教授 教授 教授	博士(文学) 博士(文学) 博士(文学) 博士(文学) 博士(文学) 博士(学術) 博士(学術)	○末松剛 ※○和田勉 ○呉紅華 ○辛島美絵 ○河野賢司 ○片桐康宏 ○酒井順一郎	<日本前近代史> <日本近代文学> <中国語文学> <中世日本語論> <アイルランド文学> <アメリカ歴史・政治> <教育文化交流史>
	国際文化特別研究Ⅱ		4		教授 教授 教授 教授 教授 教授	博士(文学) 博士(文学) 博士(文学) 博士(文学) 博士(学術) 博士(学術)	○末松剛 ※○和田勉 ○呉紅華 ○辛島美絵 ○河野賢司 ○片桐康宏 ○酒井順一郎	<日本前近代史> <日本近代文学> <中国語文学> <中世日本語論> <アイルランド文学> <アメリカ歴史・政治> <教育文化交流史>
	国際文化特別研究Ⅲ			4	教授 教授 教授 教授 教授 教授	博士(文学) 博士(文学) 博士(文学) 博士(文学) 博士(学術) 博士(学術)	○末松剛 ※○和田勉 ○呉紅華 ○辛島美絵 ○河野賢司 ○片桐康宏 ○酒井順一郎	<日本前近代史> <日本近代文学> <中国語文学> <中世日本語論> <アイルランド文学> <アメリカ歴史・政治> <教育文化交流史>
	国際文化特別演習	4			教授 教授 教授 准教授	博士(文学) 博士(学術) 博士(学術) 博士(文学)	末松剛 河野賢司 片桐康宏 酒井順一郎 天野聡一	<日本前近代史> <アイルランド文学> <アメリカ歴史・政治> <教育文化交流史> <日本近世文学>

区分	授業科目	単位			職名	担当者
		1年	2年	3年		
臨床心理学分野	臨床心理学特別研究Ⅰ	4			教授	博士(人間環境学) ○伊藤 弥生 <心理臨床研究>
					教授	博士(医学) ○稲田 尚史 <臨床心理実践研究>
					教授	博士(心理学) ※○木船 憲幸 <障害者心理学研究>
					教授	博士(医学) ○久保田 進也 <臨床コミュニケーション研究>
					教授	博士(学術) ※○窪田 由紀 <コミュニティアプローチ研究>
					教授	学術博士 ※○杉万 俊夫 <社会心理学研究>
	臨床心理学特別研究Ⅱ	4			教授	博士(人間環境学) ○伊藤 弥生 <心理臨床研究>
					教授	博士(医学) ○稲田 尚史 <臨床心理実践研究>
					教授	博士(心理学) ※○木船 憲幸 <障害者心理学研究>
					教授	博士(医学) ○久保田 進也 <臨床コミュニケーション研究>
					教授	博士(学術) ※○窪田 由紀 <コミュニティアプローチ研究>
					教授	学術博士 ※○杉万 俊夫 <社会心理学研究>
臨床心理学特別研究Ⅲ	4			教授	博士(人間環境学) ○伊藤 弥生 <心理臨床研究>	
				教授	博士(医学) ○稲田 尚史 <臨床心理実践研究>	
				教授	博士(心理学) ※○木船 憲幸 <障害者心理学研究>	
				教授	博士(医学) ○久保田 進也 <臨床コミュニケーション研究>	
				教授	博士(学術) ※○窪田 由紀 <コミュニティアプローチ研究>	
				教授	学術博士 ※○杉万 俊夫 <社会心理学研究>	
臨床心理学特別演習	4			教授	博士(人間環境学) 伊藤 弥生 <心理臨床研究>	
				教授	博士(医学) 稲田 尚史 <臨床心理実践研究>	
				教授	博士(心理学) 木船 憲幸 <障害者心理学研究>	
				教授	博士(医学) 久保田 進也 <臨床コミュニケーション研究>	
				教授	博士(学術) 窪田 由紀 <コミュニティアプローチ研究>	
				教授	学術博士 杉万 俊夫 <社会心理学研究>	
教授	博士(学術) 森川 友子 <心理療法研究>					

(注) 1. 担当教員及び授業科目等は、一部変更があり得る。
 2. ※の教員は、研究指導する学生の募集を行わない。

○履修方法等

- ① 学生は、3年以上在学し、研究指導教員(以下「指導教員」という。)の担当する授業科目12単位を修得するものとする。
- ② 学生は、指導教員と相談の上、研究遂行に必要な知識の修得のため、4単位の特別演習を履修することができる。
- ③ 博士の学位論文は、「特別研究」を担当する指導教員に提出するものとする。
- ④ 博士後期課程において所定の修業年限在学して、所定の単位を修得後、学位論文を提出するために引き続き在学する学生は、指導教員に、各学期14回の学位論文指導を受けなければならない。

経済・ビジネス研究科

○授業科目及び教員組織（令和3年8月現在）

経済・ビジネス専攻 博士後期課程

○研究指導教員

区分	授業科目	単位			職名	担当者	
		1年	2年	3年			
基幹科目	経済・ビジネス研究論	2			教授 教授	商学博士 博士（経済学） 安 熙 卓 関 根 順 一	
	基幹経済学	2				（未定）	
	基幹商学	2				（未定）	
	基幹経営学	2			教授	池 内 秀 己	
経済学領域	特別研究	理論経済学特別研究	4			教授	博士（経済学） 関 根 順 一
		経済理論史特別研究	4				（未定）
		経済システム特別研究	4				（未定）
		社会思想史特別研究	4				（未定）
		経済変動論特別研究	4			教授	博士（経済学） 関 根 順 一
		日本経済史特別研究	4				（未定）
		経済思想史特別研究	4				（未定）
		計量経済学特別研究	4				（未定）
		農業経済論特別研究	4				（未定）
		中小企業論特別研究	4			教授	経済学博士 黄 完 晟
		発展途上国論特別研究	4			教授	博士（経済学） 岡 本 哲 史
		アジア経済論特別研究	4				（未定）
		金融論特別研究	4				（未定）
		租税法特別研究	4			教授	博士（経済学） 博士（経営法） 浅 川 哲 郎
	地域政策特別研究	4			教授	博士（法学） 宗 像 優	
	論文演習	理論経済学論文演習1		4		教授	博士（経済学） ○ 関 根 順 一
		理論経済学論文演習2			4	教授	博士（経済学） ○ 関 根 順 一
		経済理論史論文演習1		4			（未定）
		経済理論史論文演習2			4		（未定）
		経済システム論文演習1		4			（未定）
経済システム論文演習2				4		（未定）	
社会思想史論文演習1			4			（未定）	
社会思想史論文演習2				4		（未定）	
計量経済学論文演習1			4			（未定）	
計量経済学論文演習2				4		（未定）	
農業経済論論文演習1			4			（未定）	
農業経済論論文演習2				4		（未定）	
中小企業論論文演習1			4		教授	経済学博士 ○ 黄 完 晟	
中小企業論論文演習2				4	教授	経済学博士 ○ 黄 完 晟	
科目		発展途上国論論文演習1		4			（未定）
		発展途上国論論文演習2			4		（未定）
	アジア経済論論文演習1		4			（未定）	
	アジア経済論論文演習2			4		（未定）	
	租税法論文演習1		4			博士（経済学） 博士（経営法） 浅 川 哲 郎	
	租税法論文演習2			4		博士（経済学） 博士（経営法） 浅 川 哲 郎	

区分	授業科目	単位			職名	担当者	
		1年	2年	3年			
現代 ビジネス	特別 研究 科目	会計情報システム特別研究	4		教授	金川一夫	
		マーケティング特別研究	4			(未定)	
		マーケティング戦略特別研究	4			(未定)	
		流通情報論特別研究	4			(未定)	
		財務会計特別研究	4			(未定)	
		会計学特別研究	4			(未定)	
	論文 演習 科目	会計情報システム論文演習1		4		教授	※○金川一夫
		会計情報システム論文演習2			4	教授	※○金川一夫
		マーケティング論文演習1		4			(未定)
		マーケティング論文演習2			4		(未定)
		マーケティング戦略論文演習1		4			(未定)
		マーケティング戦略論文演習2			4		(未定)
		流通情報論論文演習1		4			(未定)
		流通情報論論文演習2			4		(未定)
ネット メソ ド 領域	特別 研究 科目	経営理論特別研究	4		教授 教授	池内秀己 経済学博士 文言	
		生産管理理論特別研究	4			(未定)	
		国際経営システム比較論特別研究	4		教授	土井一生	
		経営情報システム論特別研究	4			(未定)	
		計量経営学特別研究	4			(未定)	
		人的資源管理理論特別研究	4		教授	商学博士 安熙卓	
	論文 演習 科目	人的資源管理理論論文演習1		4		教授	商学博士 ○安熙卓
		人的資源管理理論論文演習2			4	教授	商学博士 ○安熙卓
		経営理論論文演習1		4		教授	経済学博士 ○文言
		経営理論論文演習2			4	教授	経済学博士 ○文言
		国際経営システム比較論論文演習1		4		教授	○土井一生
		国際経営システム比較論論文演習2			4	教授	○土井一生
		経営情報システム論論文演習1		4			(未定)
		経営情報システム論論文演習2			4		(未定)
計量経営学論文演習1		4			(未定)		
	計量経営学論文演習2			4		(未定)	

- (注) 1. 担当教員及び授業科目等は、一部変更があり得る。
 2. ※の教員は、研究指導する学生の募集を行わない。

○ 履修方法等

- ① 学生は、「社会人特別コース」または「研究者養成コース」のいずれかに所属するものとし、入学時に届け出るものとする。
- ② 学生は、3年以上在学し、論文演習担当の研究指導教員に、学位論文の作成、その他研究全般について指導を受けるものとする。
ただし、特に優れた業績をあげた者の在学期間は、1年以上在学すれば足りるものとする。
- ③ 学生は、必修科目2単位及び研究指導教員の特別研究、論文演習1・2の12単位、合計14単位を修得するものとする。
ただし、取得を目指す博士の学位と異なる修士の学位を有する者は、取得を目指す学位と同じ分野の基幹科目2単位を修得し、合計16単位を修得するものとする。
- ④ 特別研究、論文演習1・2の単位認定は、研究報告書の評価によって行う。
なお、論文演習2の研究報告書は、原則として20,000字程度とし、履修年度の所定の期日までに提出するものとする。
- ⑤ 学生は、研究指導教員と相談の上、研究遂行に必要な知識の修得のため、4単位の特別研究を担当する教員の許可を得て履修することができる。
なお、修得した単位は修了単位として認定されない。
- ⑥ 博士の学位論文の審査、その他必要な事項は別に定める。
- ⑦ 博士後期課程において所定の修業年限在学して、所定の単位を修得後、学位論文を提出するために引き続き在学する学生は、研究指導教員に、各学期14回の学位論文指導を受けなければならない。

情報科学研究科

○授業科目及び教員組織（令和3年8月現在）

情報科学専攻 博士後期課程

○研究指導教員

区分	授業科目	単位			職名	担当者
		1年	2年	3年		
必	情報科学特別セミナー	2			教授	博士(工学) 朝廣雄一
					教授	博士(工学) 安部恵介
					教授	博士(工学) Apduhan, Bernady O.
					教授	博士(工学) 石田健一
					教授	博士(工学) 稲永健太郎
					教授	博士(情報科学) 合志和晃
					教授	博士(情報科学) 下川俊彦
					教授	博士(情報学) 成 凱
					教授	博士(工学) 田中康一郎
					教授	博士(工学) 仲 隆
修	情報科学特別研究Ⅰ	4			教授	博士(工学) ○朝廣雄一
					教授	博士(工学) ○安部恵介
					教授	博士(工学) ※○Apduhan, Bernady O.
					教授	博士(工学) ○石田健一
					教授	博士(工学) ○稲永健太郎
					教授	博士(情報科学) ○合志和晃
					教授	博士(情報科学) ○下川俊彦
					教授	博士(情報学) ○成 凱
					教授	博士(工学) ○田中康一郎
					教授	博士(工学) ○仲 隆
目	情報科学特別研究Ⅱ	6			教授	博士(工学) ○朝廣雄一
					教授	博士(工学) ○安部恵介
					教授	博士(工学) ※○Apduhan, Bernady O.
					教授	博士(工学) ○石田健一
					教授	博士(工学) ○稲永健太郎
					教授	博士(情報科学) ○合志和晃
					教授	博士(情報科学) ○下川俊彦
					教授	博士(情報学) ○成 凱
					教授	博士(工学) ○田中康一郎
					教授	博士(工学) ○仲 隆
教授	博士(工学) ○米元 聡					

(注) 1. 担当教員及び授業科目等は、一部変更があり得る。

2. ※の教員は、研究指導する学生の募集を行わない。

○ 履修方法等

- ① 学生は、特別研究担当の研究指導教員(以下「指導教員」という。)から特別研究、学位論文の作成、その他研究全般について指導を受けるものとする。
- ② 学生は、3年以上在学し、特別セミナー及び指導教員が担当する特別研究Ⅰ、Ⅱを履修して、合計12単位を修得するものとする。ただし、特に優れた研究業績を上げたと認められた者の在学期間については、1年(ただし、博士前期課程を2年未満で修了した者は2年)以上在学すれば足りるものとする。
- ③ 指導教員が教育上有益と認めるときは、大学院協議会の議を経て学生が他の大学院又は研究所等において特別研究に関する必要な研究指導を受けることを認めることがある。
- ④ 学位論文は、特別研究を担当する指導教員に提出するものとする。
- ⑤ 博士後期課程において所定の修業年限在学して、所定の単位を修得後、学位論文を提出するために引き続き在学する学生は、指導教員に、各学期14回の学位論文指導を受けなければならない。

工 学 研 究 科

○授業科目及び教員組織（令和3年8月現在）

産業技術デザイン専攻 博士後期課程

○研究指導教員

区分	授 業 科 目	単 位			職 名	担 当 者	
		1年	2年	3年			
産 業 技 術 別 ゼ ン 専 攻	機 械 シ ス テ ム 機 械 シ ス テ ム 機 械 シ ス テ ム	機械システム特別演習Ⅰ	2		教 授	工学博士	丘 華
					教 授	博士(工学)	藤 崎 涉
					教 授	博士(工学)	寺 西 高 広
					教 授	博士(工学)	赤 坂 亮
					教 授	博士(工学)	鶴 田 和 寛
					教 授	博士(数理学)	濱 田 英 隆
	機 械 シ ス テ ム 機 械 シ ス テ ム 機 械 シ ス テ ム	機械システム特別演習Ⅱ	2		教 授	工学博士	丘 華
					教 授	博士(工学)	藤 崎 涉
					教 授	博士(工学)	寺 西 高 広
					教 授	博士(工学)	赤 坂 亮
					教 授	博士(工学)	鶴 田 和 寛
					教 授	博士(数理学)	濱 田 英 隆
機 械 シ ス テ ム 機 械 シ ス テ ム 機 械 シ ス テ ム	電 気 情 報 技 術 機 械 シ ス テ ム	電気情報技術特別演習Ⅰ	2		教 授	博士(理学)	西 寄 照 和
					准 教 授	博士(工学)	松 岡 剛 志
	電 気 情 報 技 術 機 械 シ ス テ ム	電気情報技術特別演習Ⅱ	2		教 授	博士(理学)	西 寄 照 和
					准 教 授	博士(工学)	松 岡 剛 志
機 械 シ ス テ ム 機 械 シ ス テ ム 機 械 シ ス テ ム	物 質 生 命 化 学 機 械 シ ス テ ム	物質生命化学特別演習Ⅰ	2		教 授	博士(理学)	迎 勝 也
					教 授	博士(工学)	磯 部 信一郎
					教 授	博士(農学)	満 生 慎 二
	物 質 生 命 化 学 機 械 シ ス テ ム	物質生命化学特別演習Ⅱ	2		理 学 博 士	木 山 亮 一	
					准 教 授	博士(農学)	高 杉 美佳子
					教 授	博士(工学)	日 垣 秀 彦
機 械 シ ス テ ム 機 械 シ ス テ ム 機 械 シ ス テ ム	物 質 生 命 化 学 機 械 シ ス テ ム	物質生命化学特別演習Ⅱ	2		教 授	博士(理学)	迎 勝 也
					教 授	博士(工学)	磯 部 信一郎
					教 授	博士(農学)	満 生 慎 二
					准 教 授	理学博士	木 山 亮 一
機 械 シ ス テ ム 機 械 シ ス テ ム 機 械 シ ス テ ム	物質生命化学特別演習Ⅱ	2		准 教 授	博士(農学)	高 杉 美佳子	
				教 授	博士(工学)	日 垣 秀 彦	

区分	授業科目			単位			職名	担当者		
				1年	2年	3年				
産 業 技 術 演 習 デ ザ イ ン	特 別 演 習	土 木 デ ザ イ ン	土 木 デ ザ イ ン 特 別 演 習 Ⅰ	2			教 授	博士(工学)	山 下 三 平	
							教 授	博士(工学)	林 泰 弘	
							教 授	博士(農学)	内 田 泰 三	
							教 授	博士(工学)	松 尾 栄 治	
	准 教 授	博士(工学)	横 田 雅 紀							
	准 教 授	博士(工学)	佐 藤 辰 郎							
	特 別 演 習	土 木 デ ザ イ ン	土 木 デ ザ イ ン 特 別 演 習 Ⅱ	2				教 授	博士(工学)	山 下 三 平
								教 授	博士(工学)	林 泰 弘
教 授								博士(農学)	内 田 泰 三	
教 授								博士(工学)	松 尾 栄 治	
准 教 授	博士(工学)	横 田 雅 紀								
准 教 授	博士(工学)	佐 藤 辰 郎								
建 築 デ ザ イ ン	特 別 演 習	建 築 デ ザ イ ン	建 築 デ ザ イ ン 特 別 演 習 Ⅰ	2			教 授	博士(工学)	小 泉 隆	
							教 授	博士(工学)	日 高 圭一郎	
	建 築 デ ザ イ ン	建 築 デ ザ イ ン	建 築 デ ザ イ ン 特 別 演 習 Ⅱ	2				教 授	博士(工学)	北 山 広 樹
								教 授	博士(工学)	花 井 伸 明
専 攻 研 究 共 通	特 別 専 攻 研 究	産 業 技 術 デ ザ イ ン 特 別 研 究				6	教 授	工学博士	○ 丘 華	
							教 授	博士(工学)	○ 藤 崎 涉	
							教 授	博士(工学)	○ 赤 坂 亮	
							教 授	博士(工学)	○ 日 垣 秀 彦	
							教 授	博士(工学)	○ 鶴 田 和 寛	
							教 授	博士(数理学)	○ 濱 田 英 隆	
							教 授	博士(工学)	○ 榊 泰 輔	
							教 授	博士(工学)	○ 牛 見 宣 博	
							教 授	博士(理学)	○ 西 寄 照 和	
							教 授	博士(理学)	○ 迎 勝 也	
							教 授	博士(工学)	○ 磯 部 信一郎	
							教 授	博士(農学)	○ 満 生 慎 二	
							教 授	理学博士	○ 木 山 亮 一	
							教 授	博士(工学)	○ 山 下 三 平	
							教 授	博士(工学)	○ 林 泰 弘	
							教 授	博士(農学)	○ 内 田 泰 三	
教 授	博士(工学)	○ 北 山 広 樹								
教 授	博士(工学)	○ 花 井 伸 明								

(注) 1. 担当教員及び授業科目等は、一部変更があり得る。

2. ※の教員は、研究指導する学生の募集を行わない。

○ 履修方法等

1. 履修方法等

- ① 学生は、特別研究担当の研究指導教員(以下「指導教員」という。)から学位論文の作成、その他研究全般について指導を受けるものとする。
- ② 学生は、指導教員が担当する特別研究、特別演習Ⅰ・Ⅱを履修し、合計10単位を修得するものとする。
ただし、指導教員が必要と認めた場合は、他の特別演習を、当該の特別演習を担当する教員の許可を得て履修することができる。
- ③ 指導教員が教育上有益と認めるときは、大学院協議会の議を経て学生が他の大学院又は研究所等において特別研究に関する必要な研究指導を受けることを認めることがある。
- ④ 学位論文には、指導教員が必要と認めた場合は作品を加えることができる。
- ⑤ 博士後期課程において所定の修業年限在学して、所定の単位を修得後、学位論文を提出するために引き続き在学する学生は、指導教員に、各学期14回の学位論文指導を受けなければならない。

(研究指導方法)

研究指導方法は、担当する学生の特別研究テーマについて、在学中に研究成果を博士論文にまとめて提出できるように指導する。

なお、特別演習については、学生の研究目的、資質、将来の必要性等を勘案して、所属専修の他、その研究に関連する他専攻、他専修の特別演習も履修させ、異なった分野から効果的な支援を研究に反映できるように指導する。

また、教育上有益と認める場合は、他の研究機関等において特別研究に関する必要な研究指導を受けることも認めることがある。

2. 修了要件

博士後期課程の修了要件は、3年以上在学し、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。

ただし、在学期間に関しては、工学研究科において特に優れた研究業績を上げたと認められた者については、1年(博士前期課程を1年で修了した者は、2年)以上在学すれば足りるものとする。

芸術研究科

○授業科目及び教員組織（令和3年8月現在）

造形表現専攻 博士後期課程

○研究指導教員

区分	授業科目	単位			職名	担当者
		1年	2年	3年		
共通	芸術表現特論研究A	2			教授	渡邊 雄二
	芸術表現特論研究B	2			教授 兼任講師 (九州大学大学院教授)	南 聡 後小路 雅弘
	デザイン特論研究A	2			教授	博士(芸術工学) 青木 幹太
	デザイン特論研究B	2				(未定)
	写真・映像特論研究A	2			教授	大日方 欣一
	写真・映像特論研究B	2				(未定)
芸術表現領域	芸術表現特別研究Ⅰ	4			教授 教授 教授 教授	※○渡邊 雄二 ※○古本 元治 ※○伊藤 高志 ○黒岩 俊哉 ○南 聡
	芸術表現特別研究Ⅱ		4		教授 教授 教授 教授	※○渡邊 雄二 ※○古本 元治 ※○伊藤 高志 ○黒岩 俊哉 ○南 聡
	芸術表現特別研究Ⅲ			4	教授 教授 教授 教授	※○渡邊 雄二 ※○古本 元治 ※○伊藤 高志 ○黒岩 俊哉 ○南 聡
デザイン領域	デザイン特別研究Ⅰ	4			教授 教授 教授 教授 客員教授 (第15代酒井田柿右衛門・陶芸作家)	博士(芸術工学) ○井上 貢一 博士(芸術) ○三枝 孝司 博士(芸術工学) ※○青木 幹太 博士(芸術) ○釜堀 文孝 酒井田柿右衛門
	デザイン特別研究Ⅱ		4		教授 教授 教授 教授 客員教授 (第15代酒井田柿右衛門・陶芸作家)	博士(芸術工学) ○井上 貢一 博士(芸術) ○三枝 孝司 博士(芸術工学) ※○青木 幹太 博士(芸術) ※○釜堀 文孝 酒井田柿右衛門
	デザイン特別研究Ⅲ			4	教授 教授 教授 教授 客員教授 (第15代酒井田柿右衛門・陶芸作家)	博士(芸術工学) ○井上 貢一 博士(芸術) ○三枝 孝司 博士(芸術工学) ※○青木 幹太 博士(芸術) ※○釜堀 文孝 酒井田柿右衛門

区分	授業科目	単位			職名	担当者
		1年	2年	3年		
写真・映像領域	写真・映像特別研究Ⅰ	4			教授 教授	○百瀬俊哉 ○大日方欣一
	写真・映像特別研究Ⅱ		4		教授 教授	○百瀬俊哉 ○大日方欣一
	写真・映像特別研究Ⅲ			4	教授 教授	○百瀬俊哉 ○大日方欣一

区分	授業科目	単位			職名	担当者
		1年	2年	3年		
選択科目	論文指導Ⅰ		2		教授	渡邊雄二
	論文指導Ⅱ			2	教授	渡邊雄二
	論文指導Ⅲ			2	教授	渡邊雄二

- (注) 1. 担当教員及び授業科目等は、一部変更があり得る。
2. ※の教員は、研究指導する学生の募集を行わない。

○履修方法等

1. 履修方法等

- ① 学生は、3年以上在学し、共通科目から2科目4単位及び学生の所属する研究領域の研究指導教員の特別研究12単位、合計16単位以上を修得するものとする。
- ② 学生は、3年間にわたって研究指導教員から必要な研究指導を受けなければならない。
また、学位論文(研究指導教員の指導により作品を加えることができる。)の作成、その他研究全般について指導を受けるものとする。
- ③ 学生は、研究指導教員が必要と認めた場合は、他の授業科目を履修することができる。
- ④ 博士の学位論文の予備審査は、3年在学の者は9月、4年以上在学の者は2月又は9月に行うものとする。
- ⑤ 博士の学位論文は、「研究指導」を担当する研究指導教員に提出するものとする。
- ⑥ 博士後期課程において所定の修業年限在学して、所定の単位を修得後、学位論文を提出するために引き続き在学する学生は、研究指導教員に、各学期14回の学位論文指導を受けなければならない。

出願資格の認定

本要項、1 ページ博士前期課程の2. 出願資格(8)、38ページの飛び級入学試験、41ページ博士後期課程の2. 出願資格(6)、により出願を希望する者については、以下により入学資格審査を行う。

1. 入学資格審査について

入学資格審査は、出願を希望する研究科において、申請書類により行う。なお、入学資格審査に際して、申請者を出校させる場合がある。

2. 提出書類

書 類 等	摘 要
(1) 入学試験出願資格認定申請書 (様式9)	
(2) 研究業績調書 (様式6)	学術論文等の資料を添付すること 提出資料が作品の場合は、写真 (キャビネ判) で提出すること
(3) 研究・業務報告書 (様式7)	現在までに携わった研究・業務について、記入すること
(4) 出願書類等一式	出願を希望する研究科・課程・入試区分により、必要な出願書類 (博士後期課程の出願書類の④は除く、又修了・成績証明書等については最終学校のものとする)

※飛び級入学試験 (情報科学研究科) については、(1)と(4)の書類を提出すること。

3. 申請期間

秋期入試 9月7日(火)～9月13日(月)

春期入試 1月13日(木)～1月24日(月)

※郵送の場合は、簡易書留郵便とし、期間の最終日までに必着のこと。

4. 審査の結果

審査の結果は、以下の方法により、申請者に通知する。

認定された場合 …………… 受験票の発送をもって代える。

認定されなかった場合 …………… 結果を文書にて通知する。なお、検定料は、後日返還する。

大学院設置基準第14条に定められる教育方法の特例による教育について

本学大学院は、全ての研究科及び課程において、社会人のリカレント教育に対応するため、大学院設置基準第14条「教育方法の特例：大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」による教育を行っています。

教育方法の特例による教育の概要は、以下のとおりです。

1. 対象者

社会人

2. 授業時間（月曜日から土曜日）

時 限	時 間	備 考
1	9：00～10：40	昼 間
2	11：00～12：40	
3	13：40～15：20	
4	15：40～17：20	
5	17：40～19：20	昼間・夜間
6	19：30～21：10	夜 間

3. 履修について

社会人は、夜間及び昼間・夜間（5・6時限）の時間帯に開講する授業科目を中心に履修する（昼間の履修も可）こととなります。原則として、昼間と夜間の時間帯にそれぞれ同じ授業科目を開講しますが、受講状況等によって、開講する授業科目の時間割の調整を行う場合があります。

4. その他

長期履修制度及び早期修了制度について

「長期履修制度」は職業を有している等、個人の事情により、標準修業年限を超えて計画的に履修し修了する制度です。これにより博士前期課程（標準修業年限2年）では3年又は4年、博士後期課程（標準修業年限は3年）では4年以上6年以内での履修が可能となります。長期履修学生の修学費の年額は、標準修業年限で納める額を長期履修の年限で除した額となっており、年間の修学費が軽減されます。

「早期修了制度」は所属する研究科で、特に優れた業績を上げたと認められた場合は、標準修業年限未満（1年以上）で修了できるものです。

本学は全研究科で「早期修了」及び「長期履修」の制度が規定されており、各自の研究計画やライフプランに合わせて大学院を修了することが可能です。

入学金・修学費及び委託徴収金（令和4年度入学者適用）

（博士前期課程）

(1)入学金・修学費及び委託徴収金

（単位：円）

研究科 期 別		経済・ビジネス研究科 国際文化研究科		工 学 研 究 科		芸 術 研 究 科		情報科学研究科	
		本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者	本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者	本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者	本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者
入 学 金		免除	70,000	免除	110,000	免除	130,000	免除	110,000
修 学 費	授 業 料	470,000	470,000	670,000	670,000	700,000	700,000	670,000	670,000
	教育充実費	120,000	120,000	250,000	250,000	340,000	340,000	300,000	300,000
	小 計	590,000	590,000	920,000	920,000	1,040,000	1,040,000	970,000	970,000
委 託 徴 収 金	学生教育研究 災害傷害保険料	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
合 計(年額)		591,000	661,000	921,000	1,031,000	1,041,000	1,171,000	971,000	1,081,000

(2)納付区分

（単位：円）

研究科 期 別		経済・ビジネス研究科 国際文化研究科		工 学 研 究 科		芸 術 研 究 科		情報科学研究科	
		本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者	本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者	本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者	本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者
全 納	年間納付額	591,000	661,000	921,000	1,031,000	1,041,000	1,171,000	971,000	1,081,000
分 納	第 1 回 納 付 額	296,000	366,000	461,000	571,000	521,000	651,000	486,000	596,000
	第 2 回 納 付 額	295,000	295,000	460,000	460,000	520,000	520,000	485,000	485,000

- (注) 1. 第1回納付額は、「入学金」・「修学費（授業料＋教育充実費）の半額」・「委託徴収金」の合計額。
 2. 第2回納付額は、「修学費（授業料＋教育充実費）の半額」。
 3. 本学卒業生又は修了者で博士前期課程、博士後期課程に進学する者は、入学金を免除する。

(博士後期課程)

(1) 入学金・修学費及び委託徴収金

(単位：円)

研究科		経済・ビジネス研究科 国際文化研究科		工学研究科		芸術研究科		情報科学研究科	
		本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者	本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者	本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者	本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者
入	学 金	免除	70,000	免除	110,000	免除	130,000	免除	110,000
修 学 費	授 業 料	470,000	470,000	670,000	670,000	700,000	700,000	670,000	670,000
	教育充実費	120,000	120,000	250,000	250,000	340,000	340,000	300,000	300,000
	小 計	590,000	590,000	920,000	920,000	1,040,000	1,040,000	970,000	970,000
委 託 徴 収 金	学生教育研究 災害傷害保険料	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
合 計(年額)		591,500	661,500	921,500	1,031,500	1,041,500	1,171,500	971,500	1,081,500

(2) 納付区分

(単位：円)

研究科		経済・ビジネス研究科 国際文化研究科		工学研究科		芸術研究科		情報科学研究科	
		本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者	本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者	本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者	本学の卒業生 又は修了者	他大学の卒業生 又は修了者
全 納	年間納付額	591,500	661,500	921,500	1,031,500	1,041,500	1,171,500	971,500	1,081,500
分 納	第 1 回 納 付 額	296,500	366,500	461,500	571,500	521,500	651,500	486,500	596,500
	第 2 回 納 付 額	295,000	295,000	460,000	460,000	520,000	520,000	485,000	485,000

- (注) 1. 第1回納付額は、「入学金」・「修学費（授業料＋教育充実費）の半額」・「委託徴収金」の合計額。
 2. 第2回納付額は、「修学費（授業料＋教育充実費）の半額」。
 3. 本学卒業生又は修了者で博士前期課程、博士後期課程に進学する者は、入学金を免除する。

個人情報の取り扱いについて

出願にあたって皆さまにご登録頂きました個人情報は、厳密に取り扱い、九州産業大学教務部大学院事務室が責任を持って管理を行います。

お知らせ頂いた住所・氏名・その他の個人情報は、

入学者の選抜、入学手続、追跡調査、入学後の学生支援関係（奨学・授業料の免除及び健康管理等）及び修学指導などの教育目的並びに授業料徴収等の関係に利用いたします。

また、業務は九州産業大学教務部大学院事務室が行います。

上記の場合を除き、九州産業大学教務部大学院事務室では出願にあたり皆さまにご登録いただきました個人情報は、本人の承諾なく第三者に開示することはありません。

九州産業大学教務部大学院事務室では、本人から登録いただいた個人情報の開示・訂正・削除の求めに際しては、個人を認識できる情報（氏名、住所、電話番号、生年月日など）により、本人であることを確認させていただきます。

九州産業大学教務部大学院事務室による個人情報管理に関する質問は、下記へお問い合わせください。

TEL：092-673-5596

9：00～17：00（土曜、休祭日、年末年始を除く）

E-mail：gakuin@ml.kyusan-u.ac.jp

（登録いただいた個人情報の開示・訂正・削除のご依頼もこちらで照会できます。）

出願時の提出書類一覧表 (九州産業大学大学院博士前期課程)

提出書類	一般					社会人					外国人留学生					秋推 情報	摘要
	国際	経済	情報	工学	芸術	国際	経済	情報	工学	芸術	国際	経済	情報	工学	芸術		
① 入学志願書・受験票 履歴書(裏) 様式1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
② 志望理由・ 研究希望等調査書 様式2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
③ 研究計画書 様式3	▲ 臨床		▲ 他大		●	●	●	●	●	▲ 臨床		▲ 他大		●	▲ 他大	【社会人】全 【国際】臨床 【情報】他大学出身者 【芸術】全	
④ 卒業論文の要旨 又は卒業設計 (工学研究科) 卒業研究の要旨 又は卒業論文 (情報科学研究科)	●		▲ Ⅱ類	▲ Ⅱ類	▲ 論文提出者					▲ 論文提出者	●			▲ 論文提出者		【工学】春期Ⅱ類 【芸術】論文提出者 【情報】春期Ⅱ類	
⑤ 卒業(見込)証明書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	出願前3ヵ月以内 に発行したもの	
⑥ 成績証明書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	出願前3ヵ月以内 に発行したもの	
⑦ 学会誌・紀要等 への掲載論文						▲ 任意										任意	
⑧ 推薦書						▲ 任意	▲ 任意	▲ 任意	▲ 任意	▲ 任意						任意	
推薦書 様式10															●		
⑨ 日本語能力証明書 様式4										▲ 他大	▲ 他大	▲ 他大	▲ 他大	▲ 他大		他大学出身者	
⑩ 住民票 <国内から出願>										●	●	●	●	●			
公的機関が発行した 国籍を証明する書類 (パスポートのコピー可) <国外から出願>										●	●	●	●	●			
⑪ 健康診断書 様式8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	出願前3ヵ月以内 に受診したもの	
⑫ 通知用ラベル 所定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
⑬ 提出論文証明書 所定 <出願時提出>					▲ 論文提出者					▲ 論文提出者				▲ 論文提出者		論文提出者のみ 論文と願書と共に 提出	
⑭ ① 提出作品証明書 ② 提出作品添付用紙 ③ 提出作品搬出計画 記入用紙 所定 <試験日、作品と提出>					▲ 作品提出者					▲ 作品提出者				▲ 作品提出者		作品提出者のみ 試験日に、作品と 共に提出	

※ 日本国内の大学を卒業(卒業見込みを含む)した外国人留学生

【選抜方法】 一般入試と同様

【出願書類】 外国人留学生入試の出願に必要な書類